

第37回全日本学生ライフセービング選手権大会 行動制限・管理について①

- 今大会に参加する全ての関係者に対して、以下の対応をお願いいたします。感染拡大を防止し、安心して大会を実施するための措置となります。遵守するようにお願いいたします。
- ・ 大会前14日間の体調管理ならびにその記録を各自で付けておくこと（提出までは求めない）。
- ・ 競技会の参加者は全員、新型コロナウイルスに対する何らかのウイルス検査を必ず事前に実施すること。
- ・ ウイルス検査の種類（PCR、TMA、StAmp、抗原定量、抗原定性など）や検査キットは任意のものでよいとする。
- ・ 原則来場72時間以内（正当な理由がある場合は最長1週間以内）に“発行された”検査結果をもって陰性を確認すること。また、今大会では競技会当日の朝の受付時にその検査結果を必ず提示し、確認を受けること。
- ・ 「陽性」の判定通知が届いた場合は来場せず、然るべき措置（特定の医療機関の受診、保健所への連絡、など）をとること。
- ・ 大会終了後に陽性者が発生した場合は、ただちに大会実行委員会（JLA事務局）まで報告をすること。
- ・ 検査結果等において虚偽の申告が発覚した場合（選手及びチーム関係者）、その者が所属するチームを出場停止や失格などの措置をとる場合がある。

第37回全日本学生ライフセービング選手権大会 行動制限・管理について②

- PCR等のウイルス検査にかかる費用は、各自/各チームでご負担願います。
- 大会会場入り口で、検温等の入場者チェックを実施します。

ウイルス検査結果の提示も求めますので、検査結果が判るもの（陰性証明書やメール通知、など）を当日持参していただき、入場時の受付時に検査結果を係員に提示をしてください。

検査キットの持参が困難な場合は、次のようにして写真撮影をしたもののみ提示を認めます。

- ・ 時計（日時がわかるように）
 - ・ 検査の結果 + 身分証明書が写っている写真の提示
- これらが確認できない場合は競技会場には入場できません。



提示写真の例

第37回全日本学生ライフセービング選手権大会 行動制限・管理について③

- 各チームの宿泊利用は、最低限の宿泊に留めるようお願いいたします。
- 競技会当日は、現地での行動や移動は最小限に留めてください。現地住民の皆様のご迷惑となるような行動は厳に慎んでください。
(例)
 - ・ 大勢で町のスーパーやコンビニに買い物に行かない
 - ・ 大勢で会話をしながら町内に出回らない
 - ・ 電車利用時は駅から、自家用車等での来訪時は駐車場から、やむなく宿泊利用時は宿泊施設から、それぞれ競技会場まで直接移動をする（他の施設には立ち寄らない）
- 選手テントエリアにおいて、各チーム同士が密とならぬよう、十分な間隔をとってください。また、必ずマスクを着用し、もし食事をする場合は「黙食」とし、かつ周りに他者がいない状態を守ってください。
- 事前のウイルス検査によって「陽性」反応が認められた場合、競技会場ならびに開催地域への移動は絶対におやめください。検査機関や保健所に連絡をし、然るべき対応をとってください。

第37回全日本学生ライフセービング選手権大会 行動制限・管理について④

- 本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、感染対策を徹底して実施する。競技会会場への来場にあつては、人数制限は行わない（無観客大会とはしない）。ただし、参加者の安全の為、競技エリアや観覧エリアの立ち入りを制限する場合がある。
- 参加者は原則としてマスクを装着し、大きな声での会話を控え、ソーシャルディスタンスを確保してください（熱中症の回避や、互いに距離を保っている、などの場合においてはマスクを外しても差し支えありません）。また手指消毒を心がけてください。ウォーミングアップやレース出場時に限り、直前までマスクを装着し、マスクを外した後の会話や発声は控えてください。また外したマスクは衣類のポケットや袋等に入れ、紛失等しないようにご注意ください。
- 大きな音を発する鳴り物、大きな声での声援を禁じます。「応援は拍手」にてご協力をお願いいたします。
- これらの行動制限や管理を、各チームならびに各人員、全スタッフが遵守し履行することが求められます。遵守できないチーム等には主催者判断で会場からの退去や失格、あるいは大会の即時中止の判断をする場合があります。

第37回全日本学生ライフセービング選手権大会 行動制限・管理について⑤

● 陽性判定を受けた場合、濃厚接触者となった場合

厚生労働省の指針に従い、療養期間または待機期間を過ぎており（療養解除）、症状が軽快し、かつ指定の回数のPCR検査等において陰性が確認できた場合は、出場を認めます。ただし、大会前の原則72時間以内に発行された検査結果（陰性）も同様に必要となります。療養期間または待機期間が大会日と重なる場合は、残念ながら出場することはできません。

濃厚接触者となった場合、原則の待機期間は5日間ですが、2日目及び3日目に抗原定性検査キット等を用いた検査（検査費用は自己負担）により陰性が確認された場合は、3日目から待機解除が可能な場合があります。詳しくはお住いの自治体・保健所等のWebサイトをよくご確認ください。

※参考

■厚生労働省のページより

①陽性だった場合の療養解除について

https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h3_2_5

②退院基準・解除基準の改定

<https://www.mhlw.go.jp/content/000639696.pdf>

③感染者の療養解除および濃厚接触者の健康観察の期間の短縮について

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000881512.pdf>

■東京都福祉保健局より

①陽性者ご本人から濃厚接触者疑いの人へ伝えてほしいこと

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryu/kansen/corona_portal/shien/youseisya.html

②身近な人が新型コロナウイルス感染症になった方へ～自分が濃厚接触者だと思ったら～

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryu/kansen/corona_portal/shien/coronamidika.html

③濃厚接触者判断チェックリスト

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryu/kansen/corona_portal/shien/coronamidika.files/checklist3.pdf

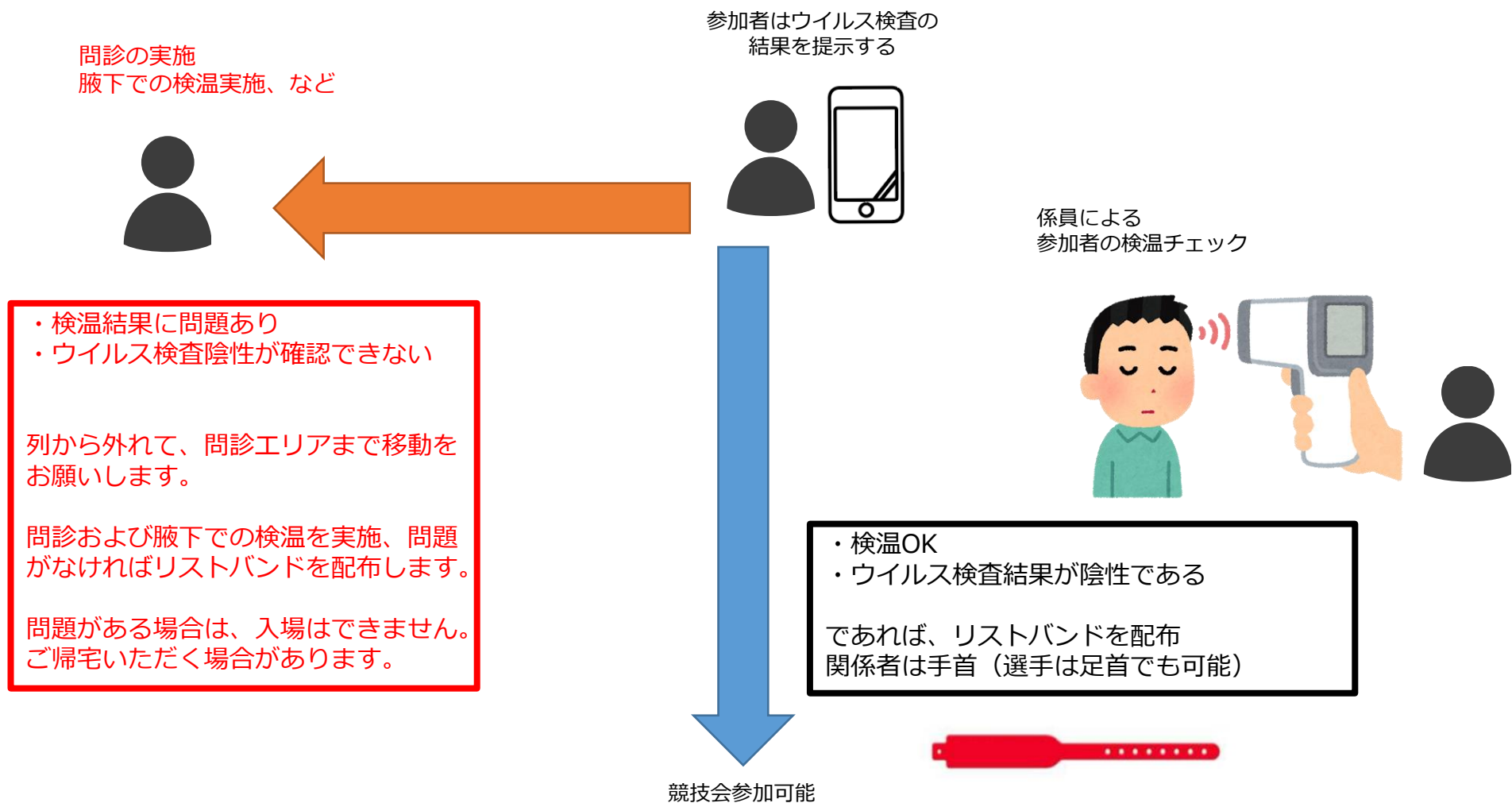
④濃厚接触者の方へ

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/tamafuchu/shingata_corona/corona_sesshoku.html

第37回全日本学生ライフセービング選手権大会 検温受付体制について

- 競技会場の来場前に、ウイルス検査を必ず実施し、陰性であることを確認してから移動・来場をしてください。
- 競技会場に着きましたら、検温受付（※会場図参照）までお越してください。受付にて、**ウイルス検査結果を提示してください。**
- 受付では、非接触式体温計を使って、検温を実施します。
- **ウイルス検査の陰性結果、受付時の体温**に問題がない場合、リストバンドを配布します。競技会場内に入る場合は、必ずリストバンドを装着するようにお願いします。原則は手首としますが、競技者は足首でも構いません。
- 検温結果に異常が出た場合は、受付列から外れて、問診エリアに移動をお願いします。問診等を実施し、問題なければリストバンドを配布、問題ある場合は競技会場には入れず、ご帰宅いただく場合があります。

第37回全日本学生ライフセービング選手権大会 検温受付体制イメージ



第37回全日本学生ライフセービング選手権大会 公式掲示板の運用について

- 今大会では混雑を避けるため、公式掲示板は設置いたしません。
- 競技結果（次ラウンド進出者、最終結果、など）は、本協会スポーツ専用のFacebookアカウントを活用します。
- アカウント名称「JLA Lifesavingsport」
<https://www.facebook.com/jla.lifesavingsport>

第37回全日本学生ライフセービング選手権大会 写真や動画の撮影についての本大会特別ルール

これまでと同じルールで、チームユニフォームを着用している方は、撮影いただけるものといたします。ただし、地域に発令されている要請などを鑑み、新型コロナウイルス感染拡大予防に徹底集中したい観点と、参加者の皆さんが、インターネット上での予測できないトラブルや誹謗中傷に合わないよう、次のことをご理解のうえ、ご協力をお願い申し上げます。

- 撮影は他者との距離を十分にとって行ってください（**感染拡大予防ガイドライン遵守**）
- チームユニフォームを着用しない者、関係者への撮影許可証発行は実施いたしません。
- チームのサポーター（チームメイトの保護者、応援者、など）が撮影をする場合も、必ずチームユニフォーム等を身に付けたうえで、競技エリアの外で撮影をお願いいたします。**
- 昨年度運用しておりました、参加チーム関係者が撮影した写真をSNS等にアップロードする際の「取材申込書」は不要といたします。ただし、一般良識に反しない、本当にアップロードしてよい写真かどうか、チーム内でよくご検討のうえで投稿をしましょう。